

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部医療人育成支援センターでは、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：保健師を対象とした静脈採血に関する研修効果の検討

-アンケート結果の分析より-

1. 研究の概要

看護職における新任期の現任教育は組織的な取り組みが重要視され、平成 22 年 4 月より看護師等人材確保の促進に関する法律で、新人看護職員研修の実施が努力義務となっています。それに伴い、新任期保健師においても、厚生労働省は平成 23 年にガイドラインを作成し、わが国の公衆衛生活動の現状や課題を踏まえて体系的な保健師育成の必要性が求められるようになっていきます。それに加え、宮崎県では大幅な保健師の世代交代が起ることが予測されており、新任期の実践能力の向上を図る取り組みは喫緊の課題として捉えられています。そこで、平成 23 年より「保健師の力育成事業」が開始され、その教育プログラムの一環として、平成 30 年度より、本学医療人育成支援センターにてシミュレータを使用した静脈採血演習を含む感染予防技術研修を実施しています。現在、静脈採血検査を担当実施する保健師は、一度感染すると命に危険を及ぼす可能性の高い感染症に関する検査業務に従事していますが、保健師は他の医療従事者に比べ静脈採血業務が少なく、技術面での不安を抱えているとの報告もあり、技術的スキルの不足やそれに伴う不安感が針刺し事故を誘発する危険性も考えられます。そのため、保健師の静脈採血を実施する機会が少ないとは言え、より安全に静脈採血の検査業務に従事できるよう感染対策と技術習得に向けた支援体制を整えることは必要不可欠であると言えます。

近年、医療の現場ではシミュレーション教育が注目されつつあり、看護師を対象とした静脈採血、静脈内注射の教育において、その有効性が数多く報告されています。シミュレーション教育のメリットは、臨床の現場と違い時間的制限がないため、何度も繰り返し自分のペースで練習できること、患者が対象ではないため失敗が許されること等が挙げられます。そこで、本研究は、シミュレーションを用いた静脈採血演習実施時に回収したアンケートの内容を分析することにより、研修効果の評価及び今後の支援について検討し、保健師を対象としたより安全な採血技術習得に向けた研修構築の一助とすることを目的とします。

2. 目的

保健師を対象とした感染予防技術研修で回収したアンケート結果を分析することにより、研修効果の評価及び今後の支援について検討することを目的とします。なお、本研究は保健師の現任教育において、新たな支援体制の構築を目的とする学術研究として実施されます。

3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から 2021 年 3 月まで行われます。

4．対象者

2018年～2019年に医療人育成支援センターにおいて開催された『感染予防技術研修』に参加された保健師の方が対象となります。

5．方法

対象となる方のアンケート情報から、静脈採血技術行動に関する質問項目、静脈採血演習の学びに関する質問項目、演習に対する自由記述式質問項目に対する回答を利用させて頂き、これらの情報をもとに研修効果の評価及び今後の支援について検討します。

本学における個人情報管理は主任研究者である加藤沙弥佳が責任を持って管理します。

6．費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7．利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8．個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報(どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る)」として使用いたします。

9．研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10．研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。

なお、本研究の実施責任者と分担研究者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反^{注1)}はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益(謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等)の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11．研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12．参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない(自分のデータを使ってほしくない)方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

作成日
2020年2月20日 第1版作成

13．疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部医療人育成支援センター

氏名：加藤 沙弥佳

電話：0985-85-8305

FAX：0985-85-7239